

報告事項ク

令和6年度鳥取県スーパー工業士（第2期生）認定証授与式の開催結果について

令和6年度鳥取県スーパー工業士（第2期生）認定証授与式の開催結果について、別紙のとおり報告します。

令和6年12月26日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和6年度鳥取県スーパー工業士(第2期生)認定証授与式の開催結果について

雇用人材局産業人材課
高等学校課

AI等の先進技術を活用できる次世代ものづくり人材を育成する県独自の認定プログラム「鳥取県スーパー工業士」の第2期生の認定及び認定証授与式を開催しましたので報告します。

1 令和6年度鳥取県スーパー工業士(第2期生)認定証授与式の概要

- (1)日時:令和6年10月23日(水)午後2時から午後2時20分
- (2)会場:特別会議室(議会棟3階)
- (3)出席者:スーパー工業士認定者 13名、学校関係者
(鳥取工業高校4名、鳥取湖陵高校2名、倉吉総合産業高校1名、
米子工業高校5名、境港総合技術高校1名)
- (4)次 第:認定証授与、知事挨拶、認定者代表挨拶
- (5)認定日:令和6年8月26日



認定証授与

認定者代表挨拶

[認定者のコメント]

- ・AIシステムを導入した全自動運転の車両をつくらしてみたい。
- ・人口減少や地域経済の低迷を解決する人材になりたい。
- ・AIの知識を深め、鳥取県の未来を担う人材になれるよう努力していく。

[関係者のコメント]

- ・今年度の生徒は、時間を要する配線作業を難くなくしており、大変スムーズに演習が進んだ。最先端で難度の高い内容だったが、レポートもまじめに提出し、最後まで実習に取り組んでくれた。(AI・ロボット演習担当 鳥取大学工学部教授)
- ・生徒はみな、興味をもって取り組んでいた。いずれ本校の授業でも取り扱ってみたい。(在籍校の教諭)



集合写真

2 鳥取県スーパー工業士制度の概要

- (1)目 的:生産現場においてAIをはじめとしたデジタル技術を活用できる次世代人材を育成するため、県独自の認定プログラムで学んだ工業高校の生徒を県が「スーパー工業士」として認定することで、認定者の就職や進学などのキャリア形成を支援する。
- (2)認定要件:(ア)認定プログラムを修了すること (イ)高校の成績が優秀であること
- (3)認定時期:3年生の夏
- (4)認定プログラム

実施時期	認定プログラム	学習内容
2年生 (下期)	システムデザイン研修 (オンラインライブ講義)	AIの基礎のほか、システムの基本的な構成要素、システム設計を行うための視点・考え方を学び、AIツールを活用した画像判別システムを試作。
	データサイエンス研修 (オンライン動画学習)	「社会におけるデータ・AI利活用」、「データリテラシー」「データ・AI利活用における留意事項」を学習。(オンライン動画学習Udemy/高校生の活用は全国初)
3年生 (上期)	AI・ロボット演習 (鳥取大学工学部集合演習)	システムデザインやデータサイエンス研修を踏まえた総括演習として、移動ロボットを使い、障害物をAIで画像判別する衝突回避アルゴリズムを構築。

[AI・ロボット演習(鳥取大学工学部)の様子]



ロボットへの配線、プログラミング



ロボット走行実験、プレゼン

(5)認定者への支援措置

スーパー工業士キャリア支援補助金:デジタル関連の資格取得等の費用を最大15万円(10/10)支援

- (6)これまでの実績 第1期認定者18名の進路:進学13名(うち、県内2名)、就職5名(うち、県内4名)
- (7)今後の取組 令和6年10月から第3期生が受講を開始(これまでで最多となる県下4校24名が参加)